

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成18年1月19日(2006.1.19)

【公開番号】特開2003-217977(P2003-217977A)

【公開日】平成15年7月31日(2003.7.31)

【出願番号】特願2002-381963(P2002-381963)

【国際特許分類】

H 0 1 G 9/02 (2006.01)

H 0 1 G 9/035 (2006.01)

【F I】

H 0 1 G 9/02 3 0 1

H 0 1 G 9/02 3 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月17日(2005.11.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 電解液及びその電解液中で可溶のバインダーで固着した繊維を含むセパレータ、を含む電解コンデンサであって、電解液が水と有機溶媒からなる溶媒と電解質からなり、その電解液の溶媒中の水濃度が20重量%以上35.3重量%未満である電解コンデンサ。

【請求項2】 電解液及びその電解液中で可溶のバインダーで固着した繊維を含むセパレータ、を含む電解コンデンサであって、電解液が水と有機溶媒からなる溶媒と電解質からなり、その電解液の溶媒中の水濃度が20重量%以上35.3重量%未満であり、電解液の30℃における比抵抗が40Ω・cm以下である電解コンデンサ。

【請求項3】 電解液が、電解質として蟻酸又はその塩を含んだ電解液である、請求項1又は2に記載の電解コンデンサ。

【請求項4】 電解液が、電解質として磷酸又はその塩を含んだ電解液である、請求項1又は2に記載の電解コンデンサ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

【課題を解決するための手段】

本発明は、上記の目的を達成するための、電解液及びその電解液中で可溶のバインダーで固着した繊維を含むセパレータ、を含む電解コンデンサであって、電解液が水と有機溶媒からなる溶媒と電解質、特に蟻酸又はその塩若しくは磷酸又はその塩を含み、その電解液の溶媒中の水濃度が20重量%以上35.3重量%未満である電解コンデンサである。

又、本発明は、電解液及びその電解液中で可溶のバインダーで固着した繊維を含むセパレータ、を含む電解コンデンサであって、電解液が水と有機溶媒からなる溶媒と電解質からなり、その電解液の溶媒中の水濃度が20重量%以上35.3重量%未満であり、電解液の30℃における比抵抗が40Ω・cm以下である電解コンデンサである。